

2026年3月1日
382号

大社

大社コミュニティ委員会 71-9454

この人を訪ねて

「PTAは優しきで できるところ」

大社小学校 PTA会長
石川 知巳さん

いろいろな行事に参加し、「よくお見かけする」と周りに言われるほど、精力的に活動している石川さんに話を聞きました。

＊PTAを始めるきっかけ

PTAを始めたのは、小学校の登校班で、ある保護者に出会ったのがきっかけでした。実は人見知りという石川さんは、その人がいる間に役員になりたいと思ったそうです。現在でも活動を続けているのは、地域の人たちの影響も大きいようで、10年前、20年前に役員をしていた人が、子どもたちを見守る活動や子どもたちの行事を無償でやっている姿を見て、「子どもがいる自分もやるべきかなと思う」と話していました。

＊着物との出会い

現在、着物の撮影の仕事をしています。その着物との出会いは「負けず嫌いな性格」と関係していました。18歳の時に母親と振り袖を見に行った際、対応してくれた男性は



石川 知巳さん

年齢がさほど変わらない人でした。その人が着付けの技術を持っているのに、自分は持っていないことがどうも引かかったそうです。そこから着付けを習いに行き、時代衣装の着付けまで学びました。

実際に着物の仕事をしたのは30歳の時で、大阪で店を開業させました。着物だけでなく、雑貨の中に着物も置いてあるような店で、着物に興味がなかった人やいろいろな人に、着物と触れ合う機会をつくりました。

＊西宮のお気に入りスポット

元々西宮生まれの石川さんが住まいを大阪から西宮に移した際、西宮の良さを再認識したそうです。その西宮での



友人が開拓している大好きなムギマルファーム(山口町船坂)にて

お気に入りスポットは、ニテコ池の周りの桜や夙川の橋の上から見る景色、友達家族とよく行く、自家郷山キャンプ場だそうです。

＊PTA活動、地域活動について

今までに参加した活動は、

＊PTA活動について

近年、全国的にPTAがなくなったり、PTAについて良くないイメージを持つ人も多ですが、「PTAは優しさでできていると思う」と話します。「やってみたら良かったよ、PTAは楽しいものだというのが、みんなに広がってほしいかな」と話しました。

愛護委員とPTA副会長・会長、青愛協、田んぼ実行委員会、芝生化実行委員会、星空映画上映実行委員会、コミュニティ・スクール、エココミュニティ、ベルマークボランティア「まほうのこいし」などさまざま。積極的に動き回ることが好きな方かと思えば「もともとズボラな人間なので、用事がなかったら家から出ない。なので用事がある方がいい」と話していました。そんな忙しい毎日を過ごしている石川さんが気を付けていることは「食事」です。多いときは1日に4食食べることもあるそうで、石川さんの元気の源となっています。

大社コミュニティ委員会主催
「地域懇談会開催！」

今年度のテーマは「今の子どもとのコミュニケーションを考える〜世代を超えてつながるために必要なこと〜」。講師にNPO法人みやつこサポート代表の中島恵美さんを招き、昨年11月13日に参加者みんなで学び、考え、話し合いました。

まず、中島さんから「NPO法人とは」という説明と、現在活動している内容の紹介がありました。

- ★現代の子どもたちの現状は
 - ①少子高齢化が進み、高齢者を支える子ども世代の負担の増加と今後ますます負担増になる
 - ②子どもたちの遊び場の減少とデジタル化によるコミュニケーション方法の変化
 - ③子どもたちのフラストレーションの蓄積
- という話がありました。そして、

★子どもたちのために、私たちが今できることは、
①子どもたちの現状を理解し、地域全体で子どもを育てる意識を持つ
②子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりの推進。



有意義な意見交換ができました

意見交換、質疑応答では、子育て中の保護者から「子どものゲーム、スマホなどのデジタルツールとの付き合い方」や「親の仕事や子どもの習い事でゆっくり話を聞く時間がない」という悩みが出ていました。大社小学校校長の曾澤寿之先生は、自分の子を育ててきた時に工夫した点、講師の中島さんからは「一緒に

にルールを作る」「習い事の送迎中に話をする」などの回答がありました。また、自治会で見守り活動をしている人からは、「何年生？」と聞いても「答えられません」と言われ、現代のコミュニケーションの難しさを感じたという意見も出されました。

防災フェアに参加して
大社クラブ白寿会
清水 武敏

昨年11月3日、清水・満池谷自治会主催の防災フェアが開催されました。

前回までは西田公園での開催でしたが、今回は大社小学校で開かれました。祝日の開催だったので、子ども連れの若い父親、母親の参加もあり、予定人数に満たないものの、盛況でした。

加者による実習を2組で2回ほど繰り返しました。子どもたちも懸命に段ボールベットの組み立て方法や構造を習得していました。

●次は、校庭にあるマンホールを利用した仮設トイレの説明に移りました。私はマンホールが設置されているのは知っていましたが、水路にプールの水が配管されているものと思っていました。しかし、プール下のホース接続口からホースをつないで使用時にバルブを開閉するという話に、これは大変だと感じました。

使用できるのは、市役所から下水道使用許可が出てからで、まず、下水道に水を満たして、仮設テントを設置し、ある程度使用してから下水の下流側の排水ゲートを人力で



消防隊員によるAEDの使用講習の様子

次世代の人たちのためにも、避難所利用が想定される各自治会同士の事前役割分担の調整が必要だと思いました。

開けて流します。また、プールの水を繰り返し注入するため、避難者によるマニュアルを作成が必要ではと思いました。

●次は消防(北夙川消防分署)によるAED(自動体外式除細動器)の使用指導がありました。参加者が2組に分かれて繰り返し指導を受けました。

●最後に、室内で自治会による参加賞の抽選会があり、子どもたちを含め参加者全員に防災に関する各種賞品が渡され解散しました。仮設トイレなどを実際に使用する場面が起こりませんようにと祈ります。

=大社小学校 図工展=

令和7(2025)年11月20~22日

今回の図工展の担当は、大社小学校の三崎ひとみ先生。図工展の計画は一昨年の秋頃からスタートし、本格的な準備は夏休みから始めたそうです。三崎先生に話を聞きました。

「今回の大社小の図工展では、1人が5作品に取り組みました。授業時間も限られている中で、5作品を制作するのは難しいかもしれないと思います。予想をはるかに上回る完成度の高い作



色鮮やかな作品が並んでいました



今年のテーマ

品ばかりでビックリ。また、担任の先生たちと会場設営、作品並べ、全校作品をつり下げたりするなど時間もかかり、大変なこともありましたが、どれもとても楽しかったです」

作品には子どもたちがおののの見所を記載しており、難しかった点や注目してほしいところなど、文章にも子どもたちの努力が見られ、より一層作品を楽しむことができました。

いのち輝く 大社の彩(いろどり) 図工展

全学年の子どもたちが力を合わせて作った「大水槽」は、一人一人の手形を海の仲間に見立てて、大きな水槽の中に泳がせました。子どもたちの個性があふれながらも、一体感が感じられ、すてきな作品となっていました。



全学年「大水槽」

- 《感想》
- ★「水の流れ」の作品についてイメージを形にするのが難しかったけど、最終的には満足のいく作品にできた。図工展全体は、真ん中の水辺の生きものが目立ってきれいだった。(6年生男子)
 - ★万国旗を作るときに好きな色を使って楽しかった。トン、どん、どんと打って作品は、失敗したところもあった。難しかった。(3年生女子)
 - ★シーサーの横の水しぶきのパーツを作っている時、何回もとれたけど、完成した時、かっこよかったのでがんばってよかった。(2年生男子)
 - ★細かい作業が難しかったけど、作って楽しかった。図工展のみんなの作品全部に心がかもって、上手だった。(4年生男子)



1~3年生のみんなで作った「オリジナル国旗」



4~6年生は紙粘土で「水辺の生きもの」を作成

金融教育
お金について学ぼう!
大社小学校

大社小学校6年生を対象にした金融教育の出張授業が、昨年12月5日に行われました。銀行員が各クラスに講師として来て、お金の成り立ちと銀行の仕事について解説しました。

お金クイズに始まり、お金の歴史、お金についての約束事の話の後「預金」「利息」「為替」などの用語の説明や日本銀行の役割についてなど、一見難しそうな内容についても、身近な例を用いて授業が進められました。

小学生にとっては普段手にする機会の少ない一万円札や、今では珍しい二千円札の現物を目にする事ができ、楽しんでる様子でした。児童は銀行の仕事のやりがいの話について真剣に耳を傾けていて、「銀行員になってみたいと思った人」の問いかけには約3分の1が挙手していました。最後に全員に100万円の練習札が配られ、大喜びで扇型に広げる練



みんな興味津々

習をしていました。

参加した児童は、「銀行強盗対策の話や銀行員はチームワークが大事という話に感動した」「お金クイズが面白かったし、お金は生きるために必要なものと改めて感じた」と話しました。

クリスマスクイズの答え

「にしのみや」

たくさんのご応募・ご意見をありがとうございました。

「のびのびキッズ大社」事業

みんなで楽しく遊ぼう
3月7日(土) 10:00~12:00
大社小学校校庭

共催：大社地区青少年愛護協議会
大社コミュニティ委員会

★公民館講座

企画：大社公民館地域学習推進委員会 大社公民館(71-3649)

4月18日(土) 10:00~13:00 大社公民館 調理実習室	親子調理実習 ～給食の人気献立を作ろう～ ドライカレー・フロッキーのフレンチサラダ・はるさめスープ 講師：栄養教諭 常田 美子 氏
	【事前申込】あり(先着順) 【対象】小学校4~6年生、中学生とその保護者16人 【材料費】700円 ※申し込み方法など詳細は、ポスターなどで確認してください

※諸事情により変更・中止になることがあります。掲示板などで確認してください

※申込方法など、詳しくは開講約1か月前に、各自治会掲示板、大社公民館などに置かれるチラシなどでお知らせします

地域の輪・和「もちつき大会」

大盛況

第18回「大社もちつき大会」が昨年12月20日、季節外れの暖かさの中、大社小学校運動場で開催され、手伝いの人が170人、参加者が子ども494人、大人352人総勢1016人の人が集いました。



まきを燃料に火をおこします

当日はもち米を120kg用意！昔ながらのかまど4台で火を起こし、蒸したもち米を臼3基、餅つき機3台をフル稼働でつきあげても、行列が絶えない盛況ぶりでした。

つきたての餅をしょうゆやきな粉、大根おろしやぜんざいなどでおいしそうに食べる参加者の様子に、実行委員長の松村すみ江さんは「これだけの行事ができるのは、地域や学校の皆さんのおかげで、感謝の気持ちでいっぱいです。地域では高齢化も進んでいますが、このような行事を通して、若いも若きも交流し合い、『つながる地域づくり』を進めていきたいです」と話していました。

お身体の不調ご相談ください

みち整骨院

〒662-0846
西宮市室川町1-22メゾン夙川1F
TEL. 0798-27-5916

詳しくは、[みち整骨院 西宮](#)



- 丁寧なカウンセリング
- 痛みを緩和する施術
- 清潔感のある院内

Open
火・水・木・金曜日
AM 8:00~13:00
PM 15:00~19:00
土曜日 8:30~16:00
第1・3日曜日
8:00~13:00
Close
月・第2・4日曜日



疲れきっている
身体を労る!
女性施術者による
「女性専用整体」
■腰痛 ■肩こり
■産後の身体ケア など

詳しくはホームページへ
完全自費/完全予約制/不定休

